



次期SIP課題候補 「スマートインフラマネジメントシステムの構築」 検討タスクフォース取組み状況の報告

令和4年9月1日

内閣府 プログラムディレクター候補
久田 真

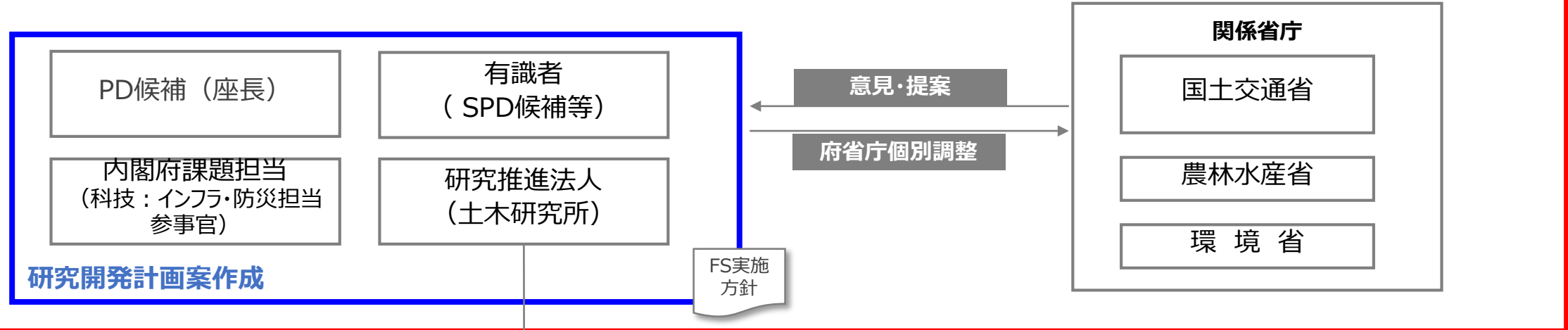
■ 1. コンセプト、目指すべき社会像

目指す社会像	解決すべき社会課題	ターゲット領域の設定とコンセプト
<p>効率的なインフラ マネジメントが進んだ 社会</p>	<p>○強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び改革の推進を図る（SDGsの9）</p> <p>○レジリエントで安全・安心な社会の構築/インフラの維持管理、更新（基本計画）</p>	<p>【スマートインフラマネジメントシステムの構築】</p> <p>○コンセプト 「インフラ・建築物の老朽化が進む中で、デジタルデータにより設計から施工、点検、補修まで一体的な管理を行い、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを推進するシステムを構築する。」</p>

（「次期SIPの課題候補の決定、令和3年12月24日、内閣府科技事務局ホームページ」に加筆）

■ 2. タスクフォースの体制

検討TF（スマートインフラマネジメント）



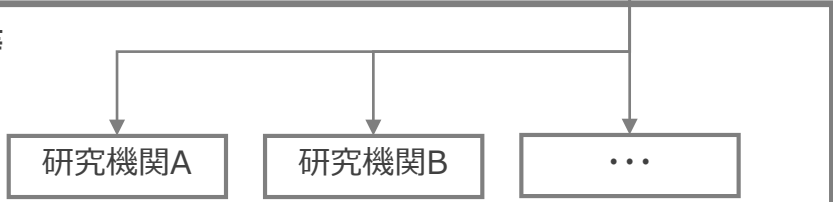
基礎的調査
研究開発計画案の検討等

公募・委託

調査分析機関

仕様書に基づく
ヒアリング等

研究機関等



位置づけ	所属・役職	氏名
座長 (PD候補)	東北大学大学院 工学研究科 教授 インフラ・マネジメント研究センター センター長	久田 真
有識者 (アドバイザー)	城西大学 学長	藤野 陽三
有識者 (SPD候補)	早稲田大学 理工学術院 教授	秋山 充良
	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授	岩波 光保
	(一財) 橋梁調査会 特別技術アドバイザー	木村 嘉富

■ 3. TF (スマートインフラ) のスケジュール

9/1現在

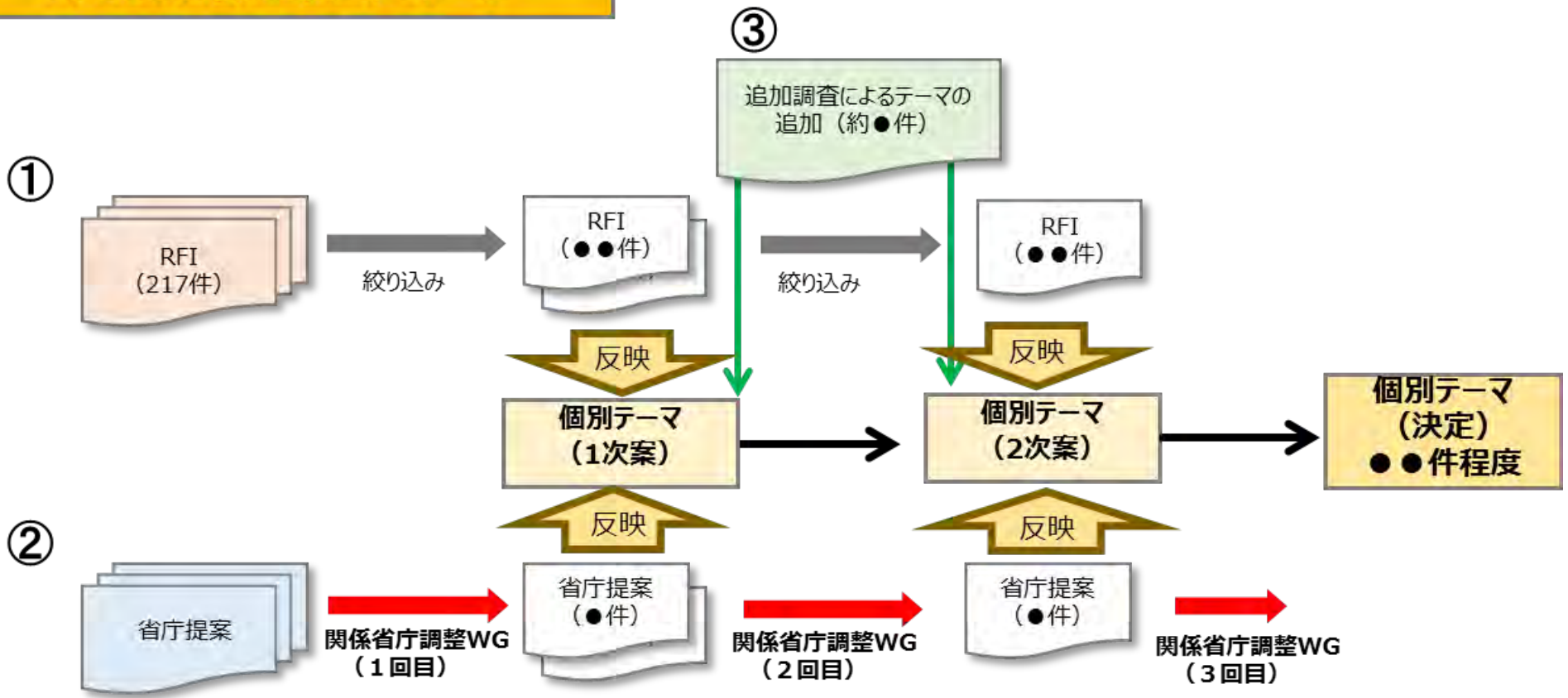
実施項目		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討タスクフォース		6/27第1回TF (キックオフ)	8/9 第2回TF (個別調査テーマ 1次案提示)		10/4 第3回TF (基礎的調査結果、 個別調査テーマ 2次案提示)		11/29第4回TF (個別調査結果、 個別調査テーマ 最終案提示)	12/15第5回TF (研究開発計画 素案の提示)		1/XX GB(研究開発計画案) パブコメ	研究開発計画案決定
		府省庁 個別調整WG	第1回		第2回		第3回				
FS実施方針作成			1.0版作成	必要に応じ、改定							
調査 分析	基礎的調査			基礎的調査 (社会課題、技術動向分析等)	中間報告						
	個別調査	公募・審査	契約	個別調査 (技術実現性、事業性、社会受容性等)	中間報告						
社会実装戦略検討							実装イメージの具体化、各種計画への記載検討				
研究開発計画案 (体制、イメージ含む)							素案作成(実施計画、体制)		GB意見、パブコメ等を踏まえた修正		

■ 4. TF（スマートインフラ）の研究テーマの構築の進め方

■ 個別テーマ構築の対象

- ① RFIから整理したテーマ
- ② 関係省庁からR3年6月等に提案されたテーマ、及び新規提案
- ③ 研究推進法人による追加調査から設定するテーマ

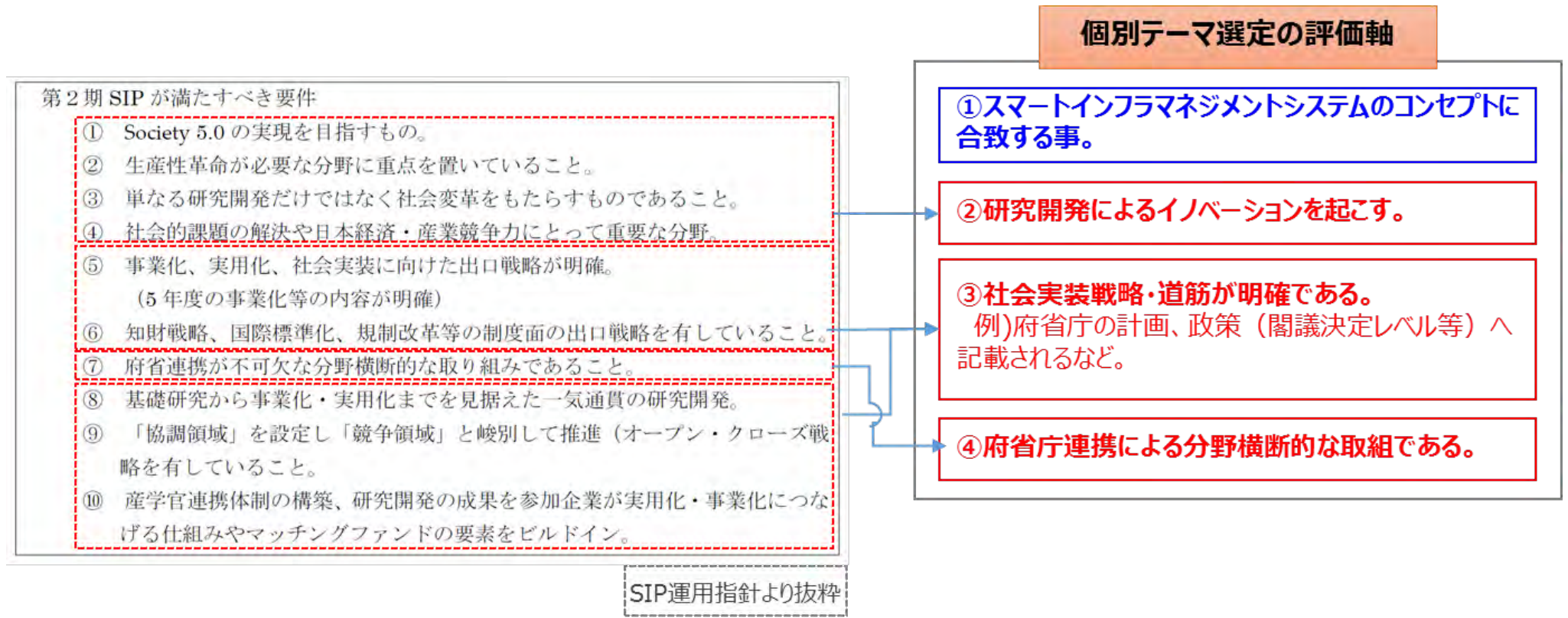
RFIを軸とした絞り込みイメージ



■ 4. TF（スマートインフラ）の研究テーマの構築の進め方

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）は、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮し、府省や旧来の分野の枠を超え、基礎研究から実用化・事業化まで見据えて一貫通貫で研究開発を推進し、イノベーションの実現を目指すものである。

個別研究テーマの決定にあたっては、府省庁個別調整WGを開催し、「個別テーマ選定の評価軸」に基づき、RFI及び府省庁提案、FSの調査状況等から重点的に取り組んでいくべきテーマの構築を行う。



■ 5. テーマ構成 (案) の構築に向けて

・次期SIP「スマートインフラマネジメントシステムの構築」RFI結果整理 (R4/ 4 / 1 内閣府科技事務局HP)

【09 スマートインフラマネジメントシステムの構築】 通し番号027

コンセプト

インフラ・建築物の老朽化が進む中で、デジタルデータにより設計から施工、点検、補修まで一体的な管理を行い、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを推進するシステムを構築する。

<RFI結果を踏まえた課題の構成案>



凡例
 (N):RFI数
 太字:サブ課題 (案)
 主なサブサブ課題 (案)

<PD候補に求められるスキル>



- インフラの建設・維持管理・運営に関して、IoTやロボット、AIなどの最先端技術の知見を有し、かつ将来像を見据えて業界・分野を超えてマネジメントできる知見、経験、ネットワークを有すること